



2025年3月吉日

National Center for Global Health and Medicine

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

国際医療協力局

報道関係 各位

【発行のご案内】

明日の国際保健医療協力 magazine

最新号 『NEWSLETTER』 vol.21/2025

特集 国際医療協力局と健康危機対応

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局は、“明日の国際保健医療協力 magazine”の最新号として『NEWSLETTER』 vol.21/2025 を発行しました。

『NEWSLETTER』は、グローバルヘルス、国際保健医療協力の潮流やキーワード、国際医療協力局の活動のご紹介を通じて、グローバルヘルスと国際保健医療協力の実際についてご理解をいただく広報誌です。2010年の創刊以来、今回で通算第40号の発行となります。

1986年10月1日に発足した、国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局は、今年39年目を迎えました。その歴史の中で、世界26か国に局員を派遣して、様々な国際保健医療協力活動を行ってきました。さらに国際協力の経験を生かして、日本国内での災害・復興支援や感染症アウトブレイク対応、在住外国人支援等にも取り組んできました。

2025年4月、NCGMは、国立感染症研究所と統合し、「国立健康危機管理研究機構（JIHS）」として発足することになりました。この節目として、今号は「国際医療協力局と健康危機対応」をテーマにとりあげ、特別号としてお届けします。

<主なコンテンツ>

◆国際医療協力局と健康危機対応の歴史

◆Special Interview 紛争地域で弱き人々の命と健康を守ること

笹川記念保健協力財団会長（元 NCGM 国際医療協力局課長） 喜多悦子

◆Special Interview COVID-19 パンデミックと国際保健医療協力の経験を振り返って

元 NCGM 国際医療協力局運営企画部長 明石秀親

長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授／元 NCGM 国際医療協力局運営企画部長

藤田則子



※『NEWS LETTER』のバックナンバーは、下記のウェブサイトから全てダウンロードできます。
<https://kyokuhp.ncgm.go.jp/library/newsletter/index.html>



【NCGM 国際医療協力局について】

NCGM 国立国際医療研究センター国際医療協力局は、グローバルヘルス分野における専門機関として、厚生労働省、外務省、国際協力機構（JICA）等の政府・関係機関や、世界保健機関（WHO）をはじめとする国際機関、大学・研究機関・学会等のアカデミア、さらには NGO や企業等の幅広いパートナーと連携し、低中所得国における技術協力プロジェクトへの専門家派遣、国内外の保健医療人材の育成のための講座や研修の提供、国際保健医療の研究、国際会議等を通じた政策提言など、低中所得国の医療や保健衛生の向上を図るためさまざまな活動を行っています。

★本件に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）
国際医療協力局 広報情報課 山田 広恵
TEL : 03-3202-7181（代表）内線：2744
E-mail : koho@it.ncgm.go.jp
<https://kyokuhp.ncgm.go.jp/index.html>